

平成 22 年度
「匠の技」継承支援事業の
実施組合を募集！

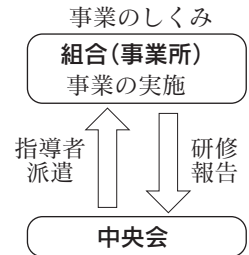
本会では、平成 21 年度に引き続き、「匠の技」継承支援事業を実施します。

本事業は秋田県からの受託事業であり、各業種の熟練技能を有する人材を若手技術者育成指導者として登録し、指導を希望する組合（事業所）に派遣する事業であり、優れた技術の継承や若手技術者の育成を目的としています。

本年度につきましては、下記のとおり募集しますので、是非お申し込み下さい。

- 実施期間 平成 22 年 5 月 6 日(木)～平成 23 年 3 月 31 日(木)
- 費用 指導者派遣等実施にあたっての費用は、**5 回派遣分まで無料**です。
- 募集数 **7 組合**（うち、2 組合は平成 21 年度の実施組合も応募可能）
- 申込締切 **平成 22 年 4 月 30 日(金)**

【お申し込み・お問い合わせ先】 本会 調査広報課 (☎ 018-863-8701)



平成 21 年度実施団体及び取り組み内容

①秋田県パン協同組合

- ・ ストレート法による山形食パンの製造技能習得
- ・ 学校給食パンの新アイテムの開発

②秋田県電気管理技術者協同組合

- ・ 移動用発電機の周波数及び電圧を手動にて調整し、商用系の電源に連携させる技術の習得

③秋田県畳商工組合

- ・ 四方縁（関東・関西の製法）の製作技能習得
- ・ 六角形鐘台（関東の製法）の製作技能習得
- ・ 四天付拝敷の製作技能習得

④秋田市建具工業協同組合

- ・ 組子基本作業の技術習得
- ・ 菱組子から葉入れ作業の技術習得と応用

⑤大館曲ワツパ協同組合

- ・ 伝統技術の基本習得

- ・ 機械の時代になり、手作業をする工程が少なくなったが、最後は手作業が重要であることがわかった。

【指導者より】（高橋順孝氏）

受講生については、今後昼業界を背負う受講生達の新しい技術を習得しようとする意気込みが感じられました。

【理事長より】（磯崎忠次郎理事長）

今日の畳製作作業は機械化され、手作業はほんの一部だけになってしまいました。今回取り組んだ特殊畳の製作はすべて手作業であったため、刺し糸のつぎ足しの仕方、講師の道具を見てその人の技術というものに触れることもでき、職人にとっての道具の大切さも感じ取れたと思います。今回の取り組みにより、若手技術者の研究心が湧き、技術の面でも技能の面でもレベルが上がることと思います。

取り組みを終えて・・・

～秋田県畳商工組合の取り組みから～

【受講者より】

- ・ 作業を一通り最後まで作業してみて、1つの工程に何種類ものやり方があることがわかり、勉強になった。
- ・ 今回の研修で、応用が出来る幅が広がった。学んだ技術・技能を自分のものにしていきたい。



秋田県畳商工組合の研修風景